

提供日 2017/1/10

タイトル グランシップ高松宮妃のおひなさま展

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

徳川家ゆかりのおひなさま 年に一度のお披露目
グランシップ「高松宮妃のおひなさま展」2/11（土・祝）より開催！
～高松宮同妃両殿下の御外遊の様子が分かる当時の新聞記事や写真を特別展示～

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成28年度グランシップ主催事業として「高松宮妃のおひなさま展」を開催します。十五代将軍徳川慶喜公の孫にあられる高松宮妃喜久子さまが、昭和5年2月4日の御成婚の際にお持ちになった京雛を展示。幅約6m、高さ3.6mの大きさながら、雅な佇まいの雛人形、精巧に作られた約600点の調度品の数々。年に一度のお披露目として、日本の伝統芸能、歳時記を後世に伝える機会です。

また、今回は高松宮同妃両殿下の御外遊の写真や、各国の新聞記事などを特別展示します。

2 概要

区分	内容
展覧会名	グランシップ高松宮妃のおひなさま展
会期・時間	2017年2月11日（土・祝）～3月5日（日）10:00～17:00 ※期間中無休 【入場無料】
会場	グランシップ 6階展示ギャラリー（静岡市駿河区池田79-4/JR東静岡駅南口隣接）
内容	十五代将軍徳川慶喜公の孫にあられる高松宮妃喜久子さまが、昭和5年2月4日のご成婚の際にお持ちになった京雛を、平成11年3月に静岡県が譲り受け、以後毎年ひなまつりの時期にグランシップにて展示し、今年で19回目となります。展示ケースは幅約6m、高さ3.6mと大きく、19体の人形を含む約600点の調度品とともに飾られる5段飾りです。当時の京都の人形師・田中弥兵衛により製作され、高蒔絵の技法も当代最高のレベルといわれています。各調度品にはひとつひとつに葵の御紋があしらわれ、箆笥などの引きだしの中には、実際に使用できるほど精巧に作られたお道具が入っています。京漆器等に施された蒔絵は当時の静岡の蒔絵師が手掛けたといわれています。また、宮中の方式を遵守して、男雛が左側（向かって右側）に座しています。
主催	公益財団法人静岡県文化財団、静岡県
後援	静岡県教育委員会
協力	公益財団法人高松宮妃癌研究基金、富士宮本町商店街振興組合レディース会

【サブイベント 他】

○ちょこっとガイド

2/11（土・祝）11:00～11:30／13:00～13:30

グランシップサポーターによる展覧会ガイド

○館内たんけんツアー

2/11（土・祝）11:30～12:30／13:30～14:30

グランシップ館内をめぐるバックステージツアー

○箏のミニコンサート

2/19（日）11:00～11:30／13:00～13:30

グランシップアウトリーチ登録アーティスト福本礼美氏による箏のミニコンサート。

○ワークショップ：紙のおひなさまをつくろう！

2/11（土・祝）10:00～16:30

紙を使用しておひなさまを作ります。小さなお子さまから楽しめます。

講師：八木朋美（静岡福祉大学 子ども学科助教）

○その他

会場内にて、富士宮本町商店街振興組合レディース会によるつるし飾りを展示。
ロビーでは、県内の福祉事業所で丁寧になられた小物や手作りお菓子などを販売。

【スポット展示】

「高松宮妃のおひなさま」の調度品の中から、着物、箆笥、鏡台などをより近くでごらんいただけるようショーケースに入れて展示します。鏡台の引き出しの中には、小さな化粧道具などが収められていて、精巧に作られていることが分かります。

【特別展示】

高松宮同妃両殿下が昭和5年4月から昭和6年にかけて14ヵ月にわたり、欧米各国を御外遊されました。当時の御外遊の写真や、訪問先の新聞記事、喜久子さまが書かれた葉書などを今回特別展示します。

4 お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：（公財）静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714（担当：法月・渡邊）